

認知症に関する活動計画（概要）

鳥取県作業療法士会では、平成27年度より認知症対策委員会を設置し、①認知症初期集中支援チームをはじめとする認知症施策やケア会議等において作業療法士の立場から適切な助言・支援ができる人材育成、②地域・高齢者に対するケアを推進する地域の各職種と連携・協働し地域の抱える課題の検討などを推進できるチームケアリーダーの育成を目的に活動を行っている。

認知症研修会／人材育成

平成27年度より、鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の助成を受けながら、年3回の認知症研修会を開催。6つのテーマに基づき研修会を開催し会員の受講状況を登録、修了者をリスト化し事業への協力派遣を行う体制を作っている。令和3年度末時点で、会員数548名中106名が6テーマ受講修了している。また、アップデート研修を28年度から毎年1回実施し、計171名の会員が受講修了している(31.2%)。

研修会の一部Web開催へ変更し、VR認知症体験を用いた研修会では、自分ゴトとして認知症を学ぶ機会も創出している。



VR認知症研修会の様子

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2021年【想いを形に】をテーマに「RUN TOMOであったら良いなと思うこと」「これからできたら良いなと思うこと」等を当事者の方、過去の参加者や地域の方に書いてもらい、ポスターやポストカードを作成した。ポスターは鳥取県内の図書館や市役所などに掲載している。2022年は「走った歩いた写真・好きなことやお出かけした写真」、「歩数や移動距離」を携帯やパソコンから専用フォームへ投稿している、みんなで合計移動距離100kmになることを目指している。



「想いをカタチに」啓発ポスター

認知症初期集中支援関係

平成28・29年度で国立長寿医療研究センターが開催している認知症初期集中支援チーム員研修へ県士会員を6名派遣、認知症研修会の中で伝達講習を行い、会員94名が受講済み。現在、県内19市町村のうち、9市町村で初期集中支援チームへチーム員会議を中心に会員が関与しており、一部では訪問等の実働も行っている。

認知症予防関係

研究開発に協力した「とっとり方式認知症予防プログラム」の普及啓発事業として、県内社会福祉協議会の担当者や県下サロンの世話人向け研修会、老人クラブ向け研修会説明会などで市民向けにプログラムの紹介やデモンストレーションの実施、認知症予防専門士講座でのプログラム紹介も行っている。



とっとり方式認知症予防プログラム

認知症の人と家族の会との連携事業

県下3か所若年認知症サポートセンターが実施している「若年認知症の人と家族のつどい（にっこりの会）」へ会員を派遣し内容の企画・実施に携わっている。

その他

市町村の介護予防事業や公民館の講座で認知症予防関連等の講師、各地域の認知症施策を考える会への協力、ろうあ仲間サロン会での介護予防講座の講師なども行っている。



ろうあ仲間サロン会（ボッチャ）